■主な事業（一般会計）

各事業	
今金中学校改築事業	16億7,504万円
災害復旧事業	2億5,538万円
田代橋長寿命化修繕事業	1億3,408万円
農業経営高度化促進事業補助金	1億　763万円
家計応援商品券事業（物価高騰対策）	9,585万円
防雪柵設置撤去事業	6,479万円
森林管理道住吉支線開設事業	5,787万円
造林事業	4,783万円
雪寒機械購入事業	4,313万円
豊田線交付金事業	2,246万円
中央通線交付金事業	2,236万円
経営持続化事業補助金（物価高騰対策）	1,679万円
私有林等整備事業補助金	1,537万円
農地耕作条件改善事業	1,510万円
曙線改修事業	1,329万円
家計応援今金産お米引換券事業（物価高騰対策）	534万円

■会計別決算状況

会計名	歳出（前年度対比）	歳入（前年度対比）
一般会計	79億1,029万円（　13.7％）	81億2,824万円（　16.1％）
特別会計	33億5,342万円（△ 4.1％）	33億8,920万円（△ 3.3％）
・国保事業	7億9,988万円（△ 5.3％）	8億　174万円（△ 5.2％）
・後期高齢者医療	9,486万円（　0.3％）	9,498万円（　0.2％）
・介護保険	7億7,885万円（△ 3.7％）	7億7,919万円（△ 3.7％）
保険事業勘定	7億5,241万円（△ 4.6％）	7億5,269万円（△ 4.6％）
サービス事業勘定	2,644万円（　29.5％）	2,650万円（　29.7％）
・介護老人保健施設	4億9,446万円（　6.1％）	5億　284万円（　7.8％）
収益的収入、支出	4億2,893万円	4億3,731万円
資本的収入、支出	6,553万円	4,760万円
損益勘定留保資金	-	1,793万円
・国保病院	8億7,248万円（△ 3.8％）	8億7,339万円（△ 3.9％）
収益的収入、支出	8億1,610万円	8億1,701万円
資本的収入、支出	5,638万円	2,842万円
損益勘定留保資金	-	2,796万円
・簡易水道事業	1億4,362万円（　6.6％）	1億4,391万円（　3.3％）
・公共下水道事業	1億6,927万円（△ 29.6％）	1億9,315万円（△ 19.6％）
合　計	112億6,371万円（　7.7％）	115億1,744万円（　9.7％）

決算

令和４年度　歳出総額
112億6,371万円（前年度対比7.7%）

一般会計　～　使ったお金（性質別歳出決算と構成状況）

■各項目別歳出状況（前年比増減率）

科目		令和４年度	構成比（%）	令和３年度	前年度比較	
					増減額	増減率（%）
義務的経費		21億5,462万円	27.3	21億2,642万円	2,820万円	1.3
	人件費	8億6,212万円	10.9	8億8,794万円	△2,582万円	△ 2.9
	扶助費	5億6,790万円	7.2	6億3,168万円	△6,378万円	△ 10.1
	公債費	7億2,460万円	9.2	6億　680万円	1億1,780万円	19.4
普通建設事業費		24億7,009万円	31.2	18億5,607万円	6億1,402万円	33.1
災害復旧費		2億5,538万円	3.2	911万円	2億4,627万円	2703.9
その他の経費		30億3,020万円	38.3	29億6,608万円	6,412万円	2.2
	物件費	8億9,201万円	11.3	8億　635万円	8,566万円	10.6
	維持補修費	3億4,058万円	4.3	2億7,577万円	6,481万円	23.5
	補助費	13億6,621万円	17.2	12億2,588万円	1億4,033万円	11.4
	繰出金	3億9,339万円	5.0	3億6,074万円	3,265万円	9.1
	積立金	3,763万円	0.5	2億9,710万円	△2億5,947万円	△ 87.3
	貸付金	38万円	0.0	24万円	14万円	58.3
合　計		79億1,029万円	100.0	69億5,768万円	9億5,261万円	13.7

- 義務的経費は、前年度比1.3%の増となり、内訳は人件費が2.9%の減、扶助費が10.1%の減、公債費が19.4%の増となっています。
- 普通建設事業費は、前年度比33.1%の増となり、主に今金中学校改築事業、田代橋長寿命化修繕事業等によるものです。
- その他の経費は、前年度比2.2%の増となり、内訳は物件費が10.6%の増、維持補修費が23.5%の増、補助費が11.4%の増、繰出金が9.1%の増、積立金が87.3%の減となっています。

